伯剌西爾時報
社長 石井清作 Director M Sameshima
發行所 伯剌西爾時報社 電話 七・四六六〇
廣告料 一ケ年 六十行 半ケ年 三十行
廣告は御申込次第御返信致す

更に大國難到來は必然
時局の超重大性を指摘
近衛首相、近く歴史的宣言發表

【東京十八日同盟】東日所報十七日新體制準備會が發展的解消を遂げる最終會合に於て近衛首相は近來稀に見る熱意を示し、然も一語〳〵氣魄をこめて

近き將來に於て、事態は益々重大を加へるものと思はれます、この非常の國難を突破する爲めには、眞に一億一心之に當らねばならぬ、

云々

と、我國の當面する事態の超重大性を示唆すると共に、その赤心と決意を大膽率直に披瀝して協力を求めた事は各方面に對しても異常の感銘を與へ、同時に文字通り一億一心、國民擧つて未曾有の國難に對處せんとの重大決意を固めしむるに至つた、斯の如く我が國は今や極めて重大なる轉期に遭遇してゐるので、近衛首相は特に新體制の發足に當つて、その決意を國民に披瀝し、端的に協力實踐を期待する事になり、近く國民に對して歴史的な宣言並に聲明を發する事となつた、その時期は大政翼賛會（假稱）の中央本部總高官職員が任命され初會合を開き、初て結成の第一歩を踏み出した時を選ぶ事になつてをり、國民に對して現下未曾有の國難を突破するため、一億同胞一體となつて、大政を翼賛し奉るべき意義を闡明、本運動の目的を率直に披瀝した、歴史的なもので、ラヂオ放送も同時に行ふ事になる筈である

小松侯その他御親族、宮內官等着床、これ以前に饌を奏じ、權本司祭長の祭詞を白し勅使以下一同拜禮、喪主を奉仕の石川別當司祭の下に、靈前祭の儀を行はせられるが、御幼少の道久王、多嘉子女王兩殿下にも御慇懃に最後の御別れを告げさせられる

哀雲垂れ込む豊島岡
北白川宮永久王殿下御葬儀
十八日莊重裡執り行はせらる

【東京十八日同盟】錦旗興亞の御柱として、畏くも金枝玉葉の御身を以て、遠く臺灣の野に壯烈な御戰死を遂げさせられた故陸軍砲兵少佐大勳位功四級北白川宮永久王殿下の御葬儀は、秋雨降りしきる十八日哀愁深き豊島ケ岡御墓所に於て、いとも莊重に執り行はせられた、この日畏くも天皇陛下には、御深愁深の他深く宣らせられ、孫に御廢朝仰せ出されて、用ひられ、砲車に奉安し參らせた御靈柩は午前八時十五分高輪南町の御殿御發引、弔旗を掲げ、哀弔の赤誠をさゝげ奉る帝都大路を無言に出はせられ、御悲しみの裡にも御武勲輝く故王の御最後に相應しき御儀が行はれ、翌で故王には台灣の役に御遺勳赫々たる御祖父宮の在す豊島ケ岡に永遠に鎮まらせ給ふた

【東京十八日同盟】故陸軍砲兵少佐大勳位功四級北白川宮永久王殿下の御葬儀は、全國民哀悼裡に十八日行はせられる、この日畏き邊では、廢朝仰せ出され、全國の劇場映畫館は勿論、國民は齊しく歌舞音曲を停止して深く哀悼の意を表し奉る

御幼少の兩女王殿下
最後のお別れ遊ばさる

【東京十八日同盟】故陸軍砲兵少佐大勳位功四級北白川宮永久王殿下の御葬儀に際し、妹宮殿下、秩父宮妃、高松宮妃各殿下を初め、各皇族方、殿下御母宮房子內親王殿下、御

畏くも廢朝仰せ出さる
全國歌舞音曲停止
哀悼の意表し奉る

【東京十八日同盟】故陸軍砲兵少佐大勳位功四級北白川宮永久王殿下の御葬儀は、全國民哀悼裡に十八日行はせられる、この日畏き邊では、廢朝仰せ出され、全國の劇場映畫館は勿論、國民は齊しく歌舞音曲を停止して深く哀悼の意を表し奉る

佛印は佛が領土保全
泰國の失地回復要求斷乎拒絶

【ヴイッシー十七日同盟】去る十七日泰國政府から提出された佛印領內の失地回復要求に對し、フランス政府は十七日正式にこれを拒絶、左記要旨の聲明を發表した

フランス政府は如何なる事情の下においても、佛印の領土保全を強行すべく決意せるものにして

御痛しまし

【東京十八日同盟】故北白川宮永久王殿下御葬儀の十八日全華北は擧げて深い哀悼の意を表し奉り、悲しみの一日を送つた、北京では午前十一時十六分軍關係、興亞院、大使館、華北政務委員會、各國策會社等全員集合して默禱を捧げ奉り、在留邦人も家業を休み哀悼の意を表し奉つた、又天津、青島、濟南の各都市並びに蒙疆全域では歌舞音曲を停止、第一線部隊在留邦人の遙拜が行はれ、嚴粛に御像を拝し奉る

全華北擧げて
深甚御哀悼の意

【北京十八日同盟】故北白川宮永久王殿下御葬儀の十八日全華北は擧げて深い哀悼の意を表し奉り、悲しみの一日を送つた、北京では午前十一時十六分軍關係、興亞院、大使館、華北政務委員會、各國策會社等全員集合して默禱を捧げ奉り、在留邦人も家業を休み哀悼の意を表し奉つた、又天津、青島、濟南の各都市並びに蒙疆全域では歌舞音曲を停止、第一線部隊在留邦人の遙拜が行はれ、嚴粛に御像を拝し奉る

科學技術も國家で統制
內閣に技術院創設か

共榮圈に於る自給資源の確保により、國防產業の擴興を計るべく科學技術の國家管制を行はんとするもので、これが推進機關としては企畫院と兼んで內閣に技術院創設が企圖されてゐる

米が英へ飛行機讓渡
米上院議員が聲明

【紐育十七日同盟ニューヨーク・タイムス紙ワシントン電】イタリアの報道は孤立派の領袖上院議員ベネット・クラーク、ラフ・シュホルト兩氏は米國政府が最近の對英援助が艦讓渡に引き續き米空軍が空の要塞と稱するラホー軍爆撃機五十九機の內廿五機及び米空軍の虎の子爆撃機標準機を英國に讓渡すべく企圖せんとしてゐる旨、十六日夜聞いたと報じ各方面の注目を惹いてゐる、兩議員の言ふところに依れば、この讓渡交渉は、極秘裡に行はれ最早英國側から正式讓渡を申出れば直ちに引渡されるまでに諒解が成立してゐると謂はれる

獨機の爆彈命中
無殘ウエストミンスター寺院大損傷

寫眞 ウエストミンスター寺院

【ロンドン十八日同盟】UP電によれば、本日未明獨機の投下せる爆彈が遂にウエストミンスター寺院に命中多大の損傷を與へた

特電

暴風吹き荒ぶ蒼穹の天地に金糸玉葉の御身を以て第一線に御活躍中名譽の御戰死遂ばされた故北白川宮永久王殿下の御靈柩は帝國軍野を擧ての御哀悼裡に昨日豊島ケ岡で執行はせられた。

故殿下には御重傷から御臨終に至るまで作戰の御事のみに御心を碎かれ一切私事に亘らせられなかつた趣、御壯烈なる御心事に一億國民唯々感泣の外なき次第である。

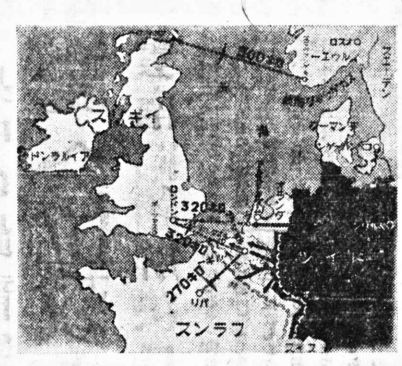
御祖父宮殿下には曩の日清戰役後新附の地台灣に鮮起した盤徒御鎭壓に向はせられ、將兵と御辛苦を共にされ感戰苦鬪中遂に薨去遂ばされた御事は今御國民の感激に深く御感銘申上る處である。

故殿下の御母宮であらせられる大紀殿下には皇族として帝國今や超重大の時局に直面して興る折柄、永久王殿下の尊き御薨去が一億一心に奥へ奉る御誓義の甚大さは計るべからざるものがある。

日獨伊庭球戰
今秋十月に實現

【東京十七日同盟】日、獨、伊の庭球戰に、日本庭球協會では十六日イタリア庭球協會よりステファニ他一名の選手を派遣する旨回答があつた、かくて日本球界多年の懸案たりし日獨伊庭球戰がこの秋十月實現することゝなつた

佛海岸の獨砲兵陣地
ロンドン向け巨砲火蓋切る



【伯林十七日同盟】英獨兩軍の長距離砲は過般來英佛海峽を挾んで活潑な應酬を續けてゐたが、ドイツ砲兵部隊は遂にフランス海岸よりロンドンに對して直接砲撃の火蓋を切つたといはれる、この砲撃に使用されてゐる長距離砲は大戰當時のベルタ砲を更に改良したもので、カレー、ロンドン間百二十キロの射程距離を有するといはれる

ルーマニヤ
また禍亂の中心地か
ソ聯、最後通牒發す

【ブダペスト十九日同盟】ユーピー電によれば、ルーマニヤは又亦西南歐爭亂の中心地たらんとしてゐる、當南政界消息通の報道によればソ聯はルーマニヤに對し早急モルダビヤ奥地駐屯のルーマニヤ兵の撤兵を要求せる最後通牒を送つたと

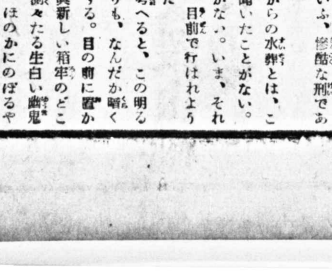
十七日中
擊墜獨機數
十二機に上る

【倫敦十八日同盟】英空軍省發表 十七日深更現在の報告に依れば、十七日中に擊墜した敵機數は十二機に上つた、我方の損害、戰闘機三機

上海爲替

【上海十八日同盟】爲替寄つき對英三シリング十六の九、對米五ドル廿二の九、軍票六十九円八の五賣り、六十九円八の六買ひ

飛行機で兵員輸送
伊軍エジプト心臟部へ猛進撃
ソルムバラニ既に占領さる



寫眞、エジプトで戰中の伊軍の對戰砲

【羅馬十七日同盟】リビア、エジプト國境から行動を起したイタリアのエジプト攻略軍は、早くも要衝ソルム・バラニを攻略、火を吐く砂漠戰を先頭に長驅マルハ、カトルーに迫つた、今朝日中にマルハ、カトルーの攻防戰が展開されるであらうと見られてゐる、然してイタリア軍の現在の態勢は

一、地中海岸沿ひに進出し、ソルム及びブクブクを攻略した第一兵團はスチー・バランを占領してゐる

一、第二兵團は英艦隊の射程外に在つて行動するため、海岸より少くとも五十哩の內陸の大地を橫斷西進中である

一、リビア土人の騎駱部隊を含む第三兵團は海岸を距たる二百哩、エヂプト、リビヤ國境のガバブントを基點として行動を開始し、隊商路に沿つて進軍中で、直接援護せしむる新戰術を探り、着々効を奏してゐると謂はれる

今回のエジプト作戰でイタリア軍は、大型輸送機を使用し一台につき二十五人づゝの武裝兵を車要前線陣地に運搬、地上戰の先驅としてこれに應援せしむる新戰術を探り、着々効を奏してゐると謂はれる

ウエーガン將軍
アフリカ探題に任命

【タンヂール（モロッコ）十七日同盟】フランス政府は鑑にウエーガン將軍をアフリカ探題に任命、アフリカ植民地に對する支配力維持に努めてゐるが、十七日カサ・ブランカより（佛領モロッコ首邑）モロッコ兩國境に沿ひ兵力集結中と傳へられ、佛領モロッコ政廳は今や內憂外患全く困惑の極である

伊太利軍
英裝甲部隊と激戰

【羅馬十七日同盟】イタリア軍發表に依れば、エジプトに進撃した、イタリア軍は十六日中海岸リビア國境東方百キロ、ソルムバラニ附近で、英軍裝甲部隊と激戰を交へた

在ロンドン
我武官室一時移轉

【ロンドン十七日同盟】過般ドイツ空軍の襲撃を受けた我がロンドン陸軍武官室は、その所在地ベーカー街は頗る繁華目標となるため、十七日比較的安全なウエストミンスター・ブロードウエーの海軍武官室に一時移轉した

生糸 演糸前寄り、一三七〇
相場 なし、なし、一三九八
なし、なし、一四〇七

獨外相
伊太利訪問

【伯林十八日同盟】リッベントロップ獨外相は、十八日突如イタリア當局と國賓の資格で伯林を出發、ローマを訪問する事になり、其の官獨當局より發表された

珈琲
サントス四番 十キロ ノミナル
リオ七番 十キロ 一二二〇〇
ベラクルス 十キロ 一二二〇〇

爲替
對日 四、六六五
對米 五、八一〇
對英 一九、七七〇
八〇〇五

あばれ大名
（映畫上演）
久我莊多郎 原作
原秀雄 脚色

（二百五・どくろ船）

（心の地震）一ノ三

お蔦さまの頼船は、毎日ぶらぶらしてゐるばかりでなく、さすがの德兵衛も感じてゐる

もし田比の廣毒なる男が、あのまゝ無事に江戸へ歸つたとしたら……？

いつかの晩の、目明し文字兵衛の言葉ではないが、これは由々しき大事である。江戸では大岡越前守が、必死と毒の魔の世界へ手入をしてゐるといふのだから、當然、密貿易賊に加擔する當時岐蘇松浦にもお咎めがある筈だ。さうなると、この地を安穩な巢としてゐた德兵衛自身にも大きな災がかぶさつて來る

「ちイッ、困つたことが……」

と、微ほどの顔腹な男も、

「御苦勞、御苦勞」

「德兵衛さま」

と、侍が問ひかけた

「一體この箱牢へ、誰をお入れになるお考へでございませうか？」

「これですかい？」

見返つた德兵衛の目に、瞬間、鋭い光りが溜つて

「物置食べ放り込んでやる、あの老人を入れるのでさ」

「えッ、あの、清齋とか申す老人？」

「左様」

といつもの憎まれな傾き方だ

「あいつには、もう要が無くなつたから、今日はいよ〳〵お陀佛にしてやるのだがね……たゞパッサリと殺すんぢや、あんまり曲がねえ。わたしを附け覗つた憎い奴だ。だからヂリ〳〵に生命を縮めてやるんでさ」

「――」

「この箱牢へ入れて流せば、潮に潜つて播磨灘まで流れて行くか。そのうちに、箱へは水がどん〳〵はいつて、生きながらの水葬が出來るつて寸法。――どうですい。うまく考へたでせう。あはゝはは」

車南風の吹きあれる空を仰いで、呵々と興笑する德兵衛の委を眺めて、とたんに、その場に居合せた一同は震を呑んだ

なんといふ、惨酷な刑であらうか！

生きながらの水葬とは、これまでに聞いたことがない。見たことがない。いま、それが繰なく、目前で行はれようとするのだ

それを考へると、この明るい陽の光りも、なんだか暗くなる氣がする。目の前に置かれてある眞新しい箱牢のどこかゝら、漸々たる生白い幽鬼のかげが、ほのかにのぼるやうに思へる

※まさか沙漠から伊軍が押し寄せまいと英近東軍當局者は高を括つてゐたが、ドイツ軍はピッタリ敗亡、ガイダ半島極めて痛快がる

※沙漠は無價値だ、ナイルデルタ地帶で伊軍に一撃に物見せん……これは英國のタンカ

※獨アルプス地帶に大暴風雨被害甚大と傳へる、敗戰、亡國史に此惨害、同情の至り

※インド大元帥にガンヂー翁推戴に決定、裸にサーベル吊つた姿は凛々しいでせう

※どうも英國は降參しそうだと面白そうに佛要人が笑ふ

新祭神一萬四千四百柱
靖國神社臨時大祭
十月十六日より御執行

【東京十八日同盟】新祭神一萬四千四百柱を合祀する靖國神社秋の臨時大祭は來る十月十五日の招魂式に續き、十六日から二十一日まで六日間、秋色深い九段の神域に前陸相軍事參議官畑俊六大將を委員長として嚴かに執り行はれるが、豫て陸海軍両省で手續を進めてゐた新祭神を畏き邊りから十八日合祀を仰せ出された旨、同日午后四時陸海軍両省から發表された、今度新に護國の神として神鎮る合祀者は、滿洲事變の戰歿者ゥ初め、支那事變勃發當初から敵首都武漢攻略戰初期の昭和十三年九月二十五日迄に陣歿した勇士達で、總て一萬四千四百柱で、中には紅一點の女子も含まれて居る、其の中支那事變關係は陸軍少將田中聖道、外一萬一千二百十二名、同じく特別合祀、病死及び戰傷死者陸軍少將杵村久藏外二千二百八十五名、滿洲事變關係陸軍航空兵少佐吉村米雄外九十名、同特別合祀歩兵少佐馬場荒記外二百八十名で、陸海軍別に見ると陸軍が一萬三千九百五十三名、海軍四百四十何名となつて居る

明年度豫算
危大各省の要求額
三分の一程度に壓縮
非常時下重點主義を强化

【東京十八日同盟】明年度豫算は各省からの豫算要求額が秋の臨時大蔵省主計局では、各省の説明を聽取しつゝ鋭意査定を進めてゐるが、現時の國際情勢が我が國内外の政治に對する影響は、現時の國際情勢が我が國内外の政治に對する影響は、現時の國際情勢が我が國内外の政治に對する影響は

薄氣味悪い値上り

珈琲と棉花の強調に面喰ふ

聖州農界近ごろの一樣相

先週末から州農界の二本柱カフェーと棉花の値段が昂騰に強調を示し、この分なら餘り悲觀するに當らないと官民共に憂眉を開いてゐる

これに關しその方面の專門家の感想を聞く　と次の通り

珈琲

先づ今日十九日から開催するカフェー生産州會議で必ず農家商人を安心させるに足る強硬策が決定されると決めて掛つてゐることが一つ、第二にはカフェー主産地方面は今年に亘る大旱魃のため一番、二番花は完全に駄目となつた、古老の話でも今年のような日照りは數十年來無いとのことで、來年のカフェー大減收は確實、豆粉といふ情ない話、商人は先の不足を見越て買つてゐるわけで、農家としては來年はもつと不景氣だろうと早くも廢業希望の向きが續出してゐる、セッカと投げ出す古畑で明年の減收挽回は未曾有のものとなるだろう、物騒まれば通ずる通張り時と言へぬこともない

棉花

珈琲の値上りと反對に棉の方は一向に原因が判然しない、只何となくフワ〳〵と値上りが來たわけで、商人、輸出商連チャンスとばかり盛んに商實をやつてゐる、多分心配してゐた特越の減少と、英國から通商使節が大商談を持つて來伯するとの噂等を買つたものらしい、どうも判然しない

披露宴取止め

關にたずさはる內外新聞記者團のみを明日午餐に招待、船內を見て貰ふ事になつた

商船團阿航路の貨客船報國丸は、愈々けふサントス港にその勇姿を現はす事になつた、同船は處女航海ではあるが時節柄從來の各寄港地に於る一切の披露宴を取止める事になり、當地では報道機

ブラジルへ

俺も一度行きたい！

米壽を迎へた八十八老

老父の駄々に原さん閉口

昨年日伯協會嘱託として家族同伴で來伯し詳さに當國の實情を視察して歸國した原竹胤氏の歸朝談を聽いて「そんない、所なら俺も一度行つて見度い」と駄々をこね始め周圍の人達を困ロさせてゐる今年米壽を迎へた八十八老がある—話ッまは外でもない原氏の老父で[illegible]石の社長に寄せた竹胤氏の令兄神戸日伯協會主事原梅三郎氏の書翰を見るとこの鐵鑄爺さんも何分歳が歳とて家族一同の困り樣が窺える、以下原氏の便り

拝啓、其後は兎角御無沙汰に打過ぎ何も申譯無之候處益々御元氣の由、小生も不相變日伯關係に沒頭致居り、先般舍弟竹胤一行渡伯の際は色々御世話に相成り本人達も大滿足にて元氣に歸國致候、ブラジルに足を踏み入れた者は何れも感慨を持つて顧る處より見て矢張りブラジルにそれ丈言ひ知れぬ魅力を持つものと存じ候、今年米壽を迎へた老父が竹胤の歸朝談を聽き俺も一度ブラジルに住つて見よう八十八年の波瀾に富む俺の生涯をブラジルに因る同胞に聽かしてやり度いと申し切り、これは歳誠では

ないらしく眞劍に考へての事らしく一堂吾々も閉口致し居候

在京の貴下御家族の皆さんを竹胤が一夕お招きしてブラジル談をやると申し居候

十五年八月八日

神戸にて　原　梅三郎

黒石清作殿

バーロス聖州執政官

ブルデンテ市訪問

邦人の歡迎ぶりにビックリ

奥ソロの都プレジデンテ、ブルデンテを公式訪問したバーロス執政官の特別列車は、既報の如く去る土曜、午後九時歡組の樂餘數千人の官民に迎へられてブルデンテ驛構內に辷り込んだ、執政官はレオナルドセラボロ郡長の案內で中央公園に到り、市主催の歡迎會に臨んだ。翌日曜日午前九時歡會のミサに參列後、サンタクルーザを訪問、終つてアエエス館に於いて各學校生徒、運動倶樂部員一般市民の歡迎行進に臨んだが、特に日本人の規律正しい行進には感心して居られたやうだ

これ等八千人の大行進に臨まれた執政官は、郡長宅で中食後、郡役所や同市に建築される中學校の定礎式、道路落成式、新飛行場などを檢分され夜は十時からシネマ館の晩餐會に列席し、邦人側は歡迎委員に選ばれた井上日本人會長はじめ有志が出席した（寫眞はバーロス執政官）

靈魂の不滅が眞ならば

あの世で比翼の鳥とならん

毒杯を仰いで人妻の厭世自殺

マリリア市に昨年よりバール飲食店を友人坂田某（假名）と共營で開業せる夫婦がゐた此の若い妻こそ今回起訴の主人公北海道人押田キミ子（廿四）であつた、夫押田秀雄（卅一）との仲には子供なく夫婦仲睦じく商賣に從事してゐたが。如何なる天魔に魅入られてか、夫秀雄は共營者の坂田の妹イク子（十八）—假名—と道ならぬ戀に溺り、人目を忍ぶ仲となり、不倫の快樂に耽つてゐたが、遂にキミ子の知る處となり爾來夫婦間に日夜口論の絶え間なく、夫秀雄はこの不倫の戀に何等改悛の情もなく、あまつさへキミ子に對一別居生活を强ひキミ子は可愛い女性の、まして異國の地に頼る者とてなく、家庭奉公に傾心の日を送つてゐたが、再び秀雄との樂しい復緣の日とて望めず、憂鬱性に取り憑かれてゐたものゝ如し

靈魂不滅の言が眞ならばあの世に近つて夫の死を待ち薄かりし現世の緣を天にて比翼の鳥とならん

と近人に告げてゐたが、曩日の前日、秀雄の店に來り復緣を乞ふも

「汝の如きものは死ね」

との無情の言葉に、去る八月廿二日午後二時、此の日覺悟の死を秘めたキミ子は、用意のタール印殺鼠劑を手に最後の復緣を迫るも甲斐なく、遂に茶碗蒸下、崩れるが如く夫秀雄の膝に伏し「許してネ」と哀れ死を以て生涯を清算してしまつた、死體は近隣者の手に依つて懇にマリリア共同墓地に埋葬された

八五低資受取りに

清水氏奥ソロへ出張

奥ソロカバナ線プレジデンテベルナルデス及びアルバレスマッシャード驛地方價務團未皆濟者十四名の懇請に依り、バウルー領事館では清水囑託を派し、八五低資價務抵當權解除手續にあたらせた」清水氏は本月一日から五日間に亘り同地方に在住する債務者

外務異動とその經費

奥ソロの都プレジデンテ、ブルデンテ市訪問の大統領は去る十七日附を以て聖州內に陸軍幼年學校を設置する旨命令を公布されたこれが爲め聖州では學校建設の爲め、敷地の選定その準備に取りかゝつた

◆

ノロエステ線リンス驛奥のゼツリーナ町では、今後慰靈祭日には一般商店は閉店休業することになつた

◆

昨十一時頃キタンダ街がキンゼ街に合する角の黑壁に凭れて洗濯屋のマークの帽子をかむつた小倩が紙片に何か書き付けてゐる、覗いて見ると受取証の金額面をケシて書替へてゐる、この不良手段にかゝらぬやうご注意

◆

海外同胞東京大會本部からブラジル觀光團本部高岡博士の許に昨日屆いた書面に依ると海外から來る慰問袋を全部として會場に山積して一般に見せ、そして銃再び軍部に送附する計畫だと、蛇が出るかちやが出るか面白い思ひ付だと評判

◆

マリリア青年會郵便物取扱所では日下郵園の整理、取扱料の徴收をしてるがCPFで日頃尼介になつてる人は八釜納入されたしと

◆

パウルー博覽會內のカシーノでは丸鶏の內體に賣けた邦人某が

◆

コンセレイロ・フルタード街がピーレス・ダ・モッタ街に交る附近、毎日のやうに邦人の子供がルアの眞中で遊んで居る、喇合はわざ〳〵曲つて避けて通る、危險なこゝは勿論、交通道德上からも慎むべきである

◆

開催中の內國博覽會の出品者を國別にすると日本、獨逸、米國、瑞典、伊太利、伯國の六ケ國である、そのうち日本人の出品者は商社十三とある

藝匠の典型

日伯關係の伸展を念じ

大橋夫妻親善の繪旅！！

往きは夫君が日本の使　復は夫人が伯國の使

嵐吹きすさぶ世界にあつて相親しむ日本とブラジル、兩國の提携が强く要望されつゝある折に藝術を通じて日伯親善に寄與したいと母國有志の後援を得て繪筆を携へ商船報國丸で來伯する大橋了介畫伯夫妻は、友邦であり故郷である當國への繪旅に、往きは夫君が日本の使となり、復はエレーナ夫人が此の國の委囑を帶びて兩國親善の增進を圖らふといふ、しかも純眞無垢な夫妻の藝術を媒介とする兩國親善强調の企ては、必ずや有終の美を納めることは疑ふべくもない

大橋了介畫伯

國江州の產、合祭に育ち茂を負ひ東京に巨匠故國田三郎助畫伯の門に約八年の靈雪を積み、のち巴里に西義を肥すこと七年、その間或は岡田藤伯に從つて伊太利・バルカン諸國を訪ねて古典藝術の粹を探秋のサロンをはじめ知名作家の集團チュイルリー出品の資格を得るなど遺憾なく實力を發揮して歸朝、しかも聲價に慢らず謙敬に筆を研いで今日に至つた人、豪宕深遠にして反省の强い畫風は賞者の胸底を衝き新鮮なる法悦を喚んでゐる

エレーナ夫人

は伯國畫壇の高宿オスカール・ペレイラ・ダ・シルヴァ氏を父として幼くより父について畫法を授かり、十六才にして早くも鬼才を認められ巴里留學を命ぜられ信學中に前大戰に逢ひ歸國、その後聖市音樂學校にピアノを學び、卒業後再び巴里に渡つて繪と音樂を修めて春のサロンの常連として、又はチュイルリーに出品佛國畫壇に名をなし、その作品高く流麗典雅な筆は、ラテン民族の特長をよく示した、夫人の姪に當る閨秀畫家として最高の画道に達し樂人を兼ね、更にコスチュームの造詣深くその筆れもが專門家として世に通ることは極めて稀有な事實と謂はれ、しかも藝術家であると同時に貞淑なる良き妻として、溫厚寡默なる了介畫伯に仕へてゐる姿は夫妻を識るものの感嘆おかざるところである

聽取狀況の調査を終へ

佐藤岡本兩氏ブエノスへ

ラヂオ聽取狀況視察の爲め去る十日來聖した日本放送協會業務局國際第一課長佐藤泰一郎氏は國際電氣通信株式會社岡本茂の兩氏は、銀泰毋國放送局との間でテストをしたり市內は勿論カンピーナスの中山農園に出張して聽取成績を詳さに調査、實際に聽いて見て何處に缺陷があるか判明その目的を果したので、昨朝九時半のコンドル機でコンゴニヤ飛行場を出發ブエノスに向つた、別れに際しもつと早くこちらに伺つて調査すべきだつたと思ひました、日本では眞相が判らぬ爲充分な成績を擧げる事が出來なかつた、今度こちらに參りまして初めて色々の缺陷を知りました、放送時間や聞放數など聽い所は改めて滿足の行くやうにします

と語つた

東山銀行部長

北パラナを視察

聖市東山銀行部長は書記を同伴、八月十一、十二の兩日に亘り奥ソロの新興大都市・プルデンテ同行支店營業狀態を調査、順調の經成績に滿足し、十三日午前十時二十分同驛出立、オウリンニョス、北巴ロンドリーナ、パンデイランテス、カンバラを視察の上歸聖したが、近時益々發展しつゝある北パラナ方面に支店設置の下準備であるらしい

チビリツサ架橋

近く工事に着手

パウリスタ延長線とノロエステ線の中間を流れるチビリツサ河の架橋問題は相當重要性あるものとして研究を續けられてゐたが、愈々具體化して近く着工する運びとなつた、これが完成の曉にはパ線ノロの兩線の貨物其の他商品日用品の運給を圓滑ならしむる上に於ても一日も早く完成させたいと當局者は勿論一般でも非常な期待をかけてゐる

重要商品市況

九月廿日十七日

	賣値	買値
○バタタ	六〇キロ	
アマレーラエスペシアール		
六三、六四、		
○スペリオール	豆	粟
○マンヂヨカ粉三等品	三三	三三

アルファファ		
キロ	四三〇	六〇
○小麦粉一級	四五	四四
極上 七一、五	七二	
上等 六八、五	六九	
○フエジョン	六〇キロ	
△新ムラチニョ		
スペリオール	四九	六〇
エスペシヤル	六二	六三
ボン	五六	五七
レグラール ノ：ナル		
△コーレス	六〇キロ	
ブ・グラード	八八	九〇
ロジンニョ ノミナル		
シュシビーニョ	六八	七〇
△ミリヨ	六〇キロ	
アマレリンニョ	一四〇	一四一
アマレロ	一六四	一六六
アマレロン	一六三	一六四
△アローズアグリア		
アマレロン		
エスペシアール	七一	七二
スペリオール	六六	六七
ボン	六一	六二
ブランコ		
エスペシアール	六四、	六五
スペリオール	五六	五七
ボン	五五	五六
レグラール		
△カテテ		
エスペシアール	四四	四五
スペリオール	四三	四四
ボン	四二	四三
ノミナル		
△メイオ		
エスペシアール	三九	四〇
スペリオール	三一	三二
△キレーラ		
○セボーラ リオグランヂ		
六〇キロ ノミナル		
○マモナ キロ	二六〇	二六五
○バニヤ 南大河	一六七	一六八
二〇キロ	一六七	一六八
○豚		
（オザスコ相場）		
○ゴールド	三四、	三五
○マーグロ	二七、	二八

蔬菜相場

九月十八日

	高値	安値	組調	產地	品名
コチア					
トマテエスペシアル	七二	二四			
プリメーロ	一三、	一六			
セグンド	一〇	一三			
レボーリオ	八、	一一			
ピメントン	一一	一四			
パーヂ	一三	一〇			
エルビーラ	一〇	一三			
ポブリンニョ	一〇	一六			
ベビーノ	一〇	一三			
人參	二百	1000	一500		
パタタ	一〇	一四			
コベフロール	一〇	一八			
なす	一〇	一三			
玉子	11,000	11,500			

急な場合の爲めゼヒ各御家庭に

商標 CHA RIBEIRA PRETO

配置袋一箇宛御備へ下さい

越中富山 御藥

本舗 富山市堀端町

支店 ブラジル聖市函1299 ルアノルル市 哇布拉西ル

長森聖榮堂

C. POSTAL 4128 - S. PAULO

蔬菜

委託販賣及仲買

元家幸吉

聖市中央青物市場 パラッカ四九番

急募

見習青年二名 高給優遇す

ルア・ブラッセル一四五六 チンツラリーヤ・ノビダーデ

電話 三一四六七七

根本重之

急募

職人二、三名 充分プラチコな人 高給優遇す

イピランガ區 ルア・ポンパストール一一五

チンツラリーア コーテンテ

CARMO GRAZIOSI & CIA.

Rua Paula Souza, 285

ソルベッテの器具用品なら專門店カルモ・グラジオージ會へ

先づ定價表をご請求下さい

Restaurante Caverna Paulista

R. Libero Badaró, 39 Tel. 3-2978 - S. Paulo

各種內外飲料物 宴會、婚禮には特別サービス 家族揃つて御來店の程を

晝食 夕食 七銭

北大醫學士 今田求

リンス市ピンテウン・デ・アブリール オスピタル街角

電話一四三 郵函二〇三

（診察時間）午前九時より午後五時迄

製法特許 ハリバ

木村長助に告ぐ

要談あり至急來舍ありたし

カンポス・ド・ジョルドン 療友會

求・ブラジル料理に經驗ある眞面目なる方を雇ひ度し

ポンレチーロ區 ルア・ソロン七〇八番 フォード工場前

カザメントのシーズンとなりました

一生一度の想出に

御記念にはおなじみの

むいとぼん寫眞館へ

アノアナタ「私し達の樂しい記念の寫眞は他の寫眞館ではいやですのよ やつぱりリンスの名物むいとぼんがよろしいわよね」

習生數名募集

可成第二世の十五歳以上二十才位の青年

希望者來談

謹啓　藤原一十百儀豫しより病氣の爲め當市オスピタル・オ・エスペランサにて治療中の處樂石効なく終に九月十七日死去聖十八日サンパウロ墓地へ埋葬仕候間此段知友各位へ御通知申上候

尙葬送の節は御多忙中にも不拘御會葬被下御芳情の程厚く御禮申上候

來る二十三日故人の爲めに當市サンゴンサーロ教會に於て午前八時ミサ執行致す事に相成り候間御通知申上候　敬具

昭和十五年九月十九日　サンパウロ市

妻 藤原咲子　養子 藤原行雄　養女 藤澤千代子　知人 天川芳郎　尻內俊太郎　欽太郎

社告

久保田勝喜氏

右は一昨年來元集金人横見芳夫氏の助手としてパウルー一帶、カフエランヂア、ビリグキ及びアラサツーバ方面の集金に從事し且つ一九四〇年七月九日本社自屬外交員に採用後も前記區域を集金に巡回讀者諸賢より御引立を蒙り居候處今般一身上の都合に依り退社致候に付此段以社告御通知申上候也

一九四〇年九月十四日

伯剌西爾時報社

ブラジル育ちの子供にはブラジル出來の立派な

子供の園

一冊三ミル、一年冊ミル

發行所　時報社

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno . . . . 60$000
» Semestre . 30$000
Numero do dia . . . 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — QUINTA FEIRA 19 de SETEMBRO de 1940 — DIARIO No. 2287

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

OS PROBLEMAS DO EXTREMO ORIENTE

Indicamos hontem nesta coluna a possibilidade de um acôrdo entre a França e o Japão a respeito da pretensão nipponica no sentido de ser permittido o transito de tropas do Mikado através da Indo-China. No mesmo dia um despacho de Shangai da United Press informava officialmente a conclusão do entendimento. Simultaneamente um telegrama de Washington da Agencia Havas dizia que o secretario de Estado da União Americana Sr. Cordell Hull presumia que o governo da França não aceitará qualquer pedido dos japoneses. Ha portanto, duvidas sobre o resultado das negociações franco-niponicas.

O aspecto mais interessante do problema do Extremo Oriente decorre agora do proposito atribuido pela mesma agencia ao governo dos Estados Unidos de discutir com a União Sovietica os meios de impedir qualquer agressão do Japão naquela zona.

Segundo informa o New York post os Estados Unidos iniciaram importantes conversações com os Soviets tendentes a impedir o objetivo japonês que será ocupar a Indo-China Franceza e as Indias Orientais Holandesas as quais exportam para os mercados americanos 90% do estanho consumido pelas industrias da grande Republica do Norte.

Prevê o articulista da referida folha que as negociações conduzirão a uma alliança entre os Estados Unidos e a Russia. O Departamento de Estado entretanto mostra-se muito cauteloso e não fornece noticias concretas sôbre o assunto.

A idéja de uma alliança russo-americana para a solução dos problemas do Extremo Oriente contra os interesses do Japão não é nova. Já no mês de Julho ultimo a Foreign Policy Association de Washington publicava um relatorio declarando que as defezas dos Estados Unidos naquella região seriam grandemente reforçadas mediante um acôrdo em virtude do qual as duas potencias se compromettessem a garantir a independencia da China e o «statu quo» no sul da Asia. O relatorio exprimia a opinião de que, sem tal convenio os russos não assumiriam nenhuma atitude hostil ao Japão no caso deste paiz praticar qualquer ato de agressão e acrescentava que o rapido avanço alemão na Europa «criára um problema critico para a politica americana no Extremo Oriente».

Dizia ainda o documento que era duvidosa a conclusão de novo acordo comercial nipo-americano, «mesmo que fosse dado de presente a China ao Japão» e declarava que não era certo que eventualmente energicas medidas adotadas pelos Estados Unidos impedissem que o Japão praticasse atos hostis de represalia. Por isso aconselhava o governo a estabelecer uma estreita cooperação com a Russia.

Entra pois no dominio das possibilidades a conclusão de um pacto americano-sovietico visando deter o Japão em sua marcha triunfal no sentido chines e evitar que firme seu predominio na Asia Oriental. Os Estados Unidos porém não parecem confiar muito nos homens de Moscou com os quais já tiveram diversos atritos diplomaticos por falta de cumprimento de compromissos solenemente assumidos e por varias vezes ameaçam de rompimento as relações entre os dois Estados.

E interessante observar que a Russia parece ter conquistado e assumido o papel de «recurso supremo» indispensavel para a solução de todos os problemas internacionais decorrentes do abuso da força por potencias ambiciosas e despoticas. Assim, antes do inicio das hostilidades europeias, as nações aliadas desenvolveram ativas e prolongadas negociações com Moscou, visando obter a cooperação do colosso russo contra os Estados totalitarios e mesmo depois de alguns mezes de guerra a Inglaterra enviou seus melhores esforços para não desagradar os Soviets com cujo auxilio ainda conta a despeito das repetidas provas de solidariedade teuto-russa.

Agora os Estados Unidos que frequentemente condenaram certos aspectos da politica moscovita, tambem procuram a ajuda russa contra o Imperio do Sol Nascente, sem ter em consideração as decepções que os aliados sofreram quando procuravam aliciar a União Sovietica a esfera de influencia de Londres a Paris.

A RUSSIA TERIA ENVIADO UM "ULTIMATUM" AO GOVERNO RUMENO

BUDAPEST, 17 (Domei) — A Rumania parece tornar-se, novamente o foco de tensão do sudeste da Europa pois segundo informações recebidas em circulos diplomaticos desta capital, ainda não confirmadas e procedentes de Bucarest, a Russia dirigiu um «ultimatum» á Rumania, fixando um prazo para que retire suas tropas mais para o interior da Moldavia.

Entrementes não se têm detalhes precisos sobre tal noticia e o governo rumeno formulou um desmentido a respeito.

Annunciou-se tambem, ao mesmo tempo e ainda sem confirmação que a Bulgaria está mobilisando dez classes addidionaes de tropas.

Os funccionarios da embaixada sovietica nesta capital por sua vez, recusaram-se a mittir um categorido desmentido desses rumores, pelo que toma vulto a crença de que o «ultimatum» possivelmente tenha sido entregue ao embaixador rumeno em Moscou sr. Gafencu, ou talvez enviado directamente ao primeiro ministro, general Antonescu.

Entretanto, segundo um rumor procedente de Bucarest, o qual como os anteriores não foi confirmado, verificaram-se movimentos de tropas russas e rumenas na região da Moldavia, porém não se tem detalhes sobre este particular.

Novas informações chegadas de Bucarest dizem que os russos continuam mantendo uma situação de tensão ao norte da Bukovinar onde registaram-se varias escaramuças nos ultimos dias. Acredita-se, nas esferas diplomaticas locaes que taes escaramuças foram provocadas pelos rumenos quando os russos, como o fizeram de fomentar a tensão que formá parte de seus planos. fizeram avançar algumas de suas patrulhas na zona neutra criada pelos dois paizes, patrulhas essas que se dedicavam á tarefa de derrubar arvores, colocando obstaculos em ambos os lados da fronteira.

Foi annunciada tambem a presença de unidades da força aerea alemã na Rumania e que technicos germanicos de aeronautica tomaram a seu cargo a direcção das fabricas de material rumeno para a aviação.

Sabe-se que o primeiro ministro general Antonescu, desejava retirar o embaixador rumeno em Moscou sr. Gafencu porém o governo sovietico lhe informou que nenhum outro embaixador seria considerado «persona grata».

Ao que se soube nas espheras diplomaticas os residentes bulgaros de Dobrudja septentrional dirigiram uma petição ao ministro russo em Sophia solicitando a sua intervenção e adiantando que preferem o protectorado russo do que serem reintegrados á Bulgaria ou permanecer sob o dominio da Rumania.

Indicios de que Esta' Imenente uma Tentativa de Invasão das Ilhas Britanicas por Parte das Forças Alemãs

— Já ia bem avançada a tarde quando se soube em fonte militar entendida que todos os indicios fazem presumir uma iminente tentativa de invasão da costa continental e possivelmente em 10 ou mais pontos diversos.

Ao mesmo tempo expressa-se a convicção de que os rudes ataques de sete dias contra Londres foram saram como vanguarda da invasão ou como tentativa para paralisar os esforços béli os da Grã-Bretanha.

A frota que Hitler reservava para a invasão está decendo cautelosamente pela costa fraucesa. Existem tropas de choque concentrados do outro lado do Canal. Por via ferre chegam mais e mais homens e grandes quantidades de material bélico a região costeira. Mas os ataques en massa do mês passado especialmente os da ultima semana não debilitaram seriamente as defezas nem deliveram a produção essencial.

Mesmo que a invasão se verificasse amanhã os aliados encontrariam praticamente incolumes as defesas de ar e terra apesar do sistematico esforço para afasta-los da costa rechassando-as para o interior do pais.

Com três mêses de trabalho intenso organizou-se uma linha de frente costeira de primeira classe, cujas defesas detam em grande parte de muitos anos atrás.

O correspondente viu um trecho de 350 a 400 quilómetros de costa posta «á prova de desembarque», com suas barreiras de arame farpado, casamatas e canhões.

A julgar pelas declarações dos alemães os ataques da semana passada foram destinados simplesmente a paralisar as atividades de Londres e a desmoralizar a população. As ondas de aviões atacantes que antes concentravam seus ataques aos aerodromos e as industrias do pais quasi chegavam intatas sobre a capital. Se isto é verdade representa um esforço supremo da «Luftwaffe», e sugerindo uma opinião que vai se arraigando na Grã Bretanha a «blitzkrieg» foi definitivamente frustrada.

NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» DA DONEI

LEIA O NOSSO KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

經濟欄

金なき經濟の將來
多少は殘るとの觀測

宮田喜代藏氏談

一

ドイツ經濟相フンク氏が、戰後に具體化すべき歐洲新經濟秩序について話つたところは世界各方面に多大の注目をひいてゐる、なかんづく、かれが金本位への復活を否定し、歐洲通貨の基礎としてライヒス・マルクの採用を言明した點は、最もセンセイションを巻起してゐる、アメリカに集中した二百億弗の金の運命が漸く疑懷されてゐた折も折とこれは金を通じての英米の世界支配の舊體制に對しての一大挑戰とも解されるからである、なほ金現送および產金政策に臺身をやつしてゐるわが國にとつても重大な關心事ではある

二

世界經濟の構造が、今や根本的に變革されつゝあることは否定出來ない、幾多の國家を基礎としながら、世界には數個のブロックが登場し、遂にこれらブロック相互の間の流通取引が問題となつて來るとき通貨としての金の問題もまた、これら三つの階層のそれぞれについて特別に考察されねばならなくなつて來た、まづ一國家の內部においては通貨の基礎としては金を全く排除しうること、これはすでに三十五年の昔にナクップ貨幣學說の敎へてくれたところである、さらに進んでブロック經濟の內部においても、獨立の國家の貿易、通貨すべては全體的な計畫の下に統制されうることが豫想される處り同時に、國際を中心として、通貨ブロックの確立が考へられる、この際各國の貨幣が消滅して單主國の貨幣のみが通用するとは限らない、單主國の貨幣單位をめぐつて各國の通貨が連繫されてよい、歐洲經濟秩序がライヒス・マルク、昔本位をとり、東亞ブロックが円、昔本位のもとに統一され、これら國家間の流通には金を排除することが出來る

しかるに第三のブロック相互間の流通について見るに、理論上から金を全く排除しても貿易は成立するが、現實には金は殘つて最後の貿易決濟手段としての職能を揚すであらう、なほ將來世界經濟が四つ五つの大ブロックの割存に發展せんとするとき、これらブロック相互間においては決濟貿易ないし清算制度の運用が挑れるであらうが、こゝでは金の最後の決濟手段として殘留しよう、從がつて金は今日の國際流動資金支配の王座から引下ろされるであらうが、しかしブロック相互の間に協定される決濟貿易の內容を構成する一つの商品として取上げられ、その流通の円滑を實現するために働くことゝならう

米洲珈琲收穫豫想
二千四百万俵と公表

現在の世界市場へ輸出する珈琲中ブラジル、コロンビア、墨印、グアテマラ、ベネズエラ、サルバドルの諸國によつてその五分ノ四を、ブラジルからは四分ノ三を供給しつゝある、その數字次の通り

（單位千トン）

	一九三九年	一九四〇年
ブラジル	三三、三	三九、三
コロンビア	九、六	七、六
墨印	二、三	一、六
グアテマラ	一、九	一、〇
ヴエネズエラ	七、一	四、四
サルバドル	六、七	三、七
合計	四〇、九	四一、八

昨年度珈琲收穫豫想を政府より次の如く發表された（單位千俵）

本年度珈琲收穫豫想	一四、〇〇〇
昨年度持越し	一、五〇〇
總計	一五、五〇〇
サントス	七〇〇
エ・サント	二五〇
パラナー	八〇
バイーヤ	七〇
ゴヤス	二〇、八五〇
ペルナンブーコ	二七〇
合計	二一、一二〇

伯國珈琲豫想

珈琲市況

サントス商業組合は引き續きカフエー市場ノミナルを宣言した

實物取引は政府の強硬決意を入れて底意固く著しく市況は改善され、調子良く週初取引は取引が初まつた、賣方の底意外に強く、商談成立ば補であるが、大體先週末より各銘物を通じて一ミル方引締つた直後商談は月曜一七・二一一八二・二で四級ゾーロの商談成立

十六日の紐育電もサントス級先物は特に強調を示し、一五一六ポイントの急騰となりこれに引かれてリオ級も四—六ポイントの急騰であつた、同地の觀測では聖州產地の大旱魃により、開花季の珈琲が大幾をそそがたこと、伯國聖州産花の格附けも愈々二億九千万俵を突破し空前の記錄三億も多分確實と見られるに至つたが、時節柄困難視された輸出も徐々乍ら順調に進行し二億キロ、即ち生產量の三分ノ二まで賣り拂ひ棉業界には明色が漂つてゐる、その方面の權威の豫想では五千万キロ程の持ち越し戰爭が續くものとしての推定……この分で進めば資金繰といふ程がものはあるまいと急に樂觀氣分が擡頭して來た、一方實需筋は賣りだゝめ來棉同樣品とはアロー バ當り十數ミルの下値を押して買つてゐたが、此方面の豫想も樂觀と共に急に賣り腰を突張つてゐる

右の原因から昨今は一段と市況は強化し、先週末と今週初めとは一一、五ミルの開きを生じ、四十二ミルと大強調となつてゐる

奥地マキナ商及び產組等も久しく手持ちしてゐた現物を、値頃と見たか旺盛に賣應じ今週初めは輸出商との間に大量の商談が成立中である、マキナ、產組、特產覺悟で今まで賣おしんだ強氣筋一般の儲けはこの兩三日中大した金額に上るものと推定される

商北伯棉は大豊作で、これも二億近い收穫は間違ひなしと踏まれる、日トエジプト棉は市物と關絶してゐるため、この棉にもボツ〳〵買氣つき、棉に關する限り伯國は形勢一轉の機運に悲まれるものゝ如くである、棉の新植も附けも大した心配は不要と一般の觀測が一致してゐる

貿易祭
今秋開く

紀元二千六百年を奉祝し戰時下における輸出貿易の重要性を國民に鼓吹するとともに、わが國海外貿易の振興に寄與するため日本優良物產協會では員の企畫院後援の下に今秋盛大な貿易祭を開催する後定で

十日その計畫大綱が發表された、それによると期間は十月十九日から廿七日まで參加區域は內外地を包含し、まづ新興輸出品および代用品の展示會を皮切りに、貿易人勢者の表彰、貿易會議の開催、一流藝術家を總動員した貿易祭の夕を催すなど多彩なプログラムの下に貿易の重要性を强調するはずである

統計

聖州棉花格附け	一、五七三俵
入荷	一三、二〇九俵
發送	四四、七二七俵
船機	三、二七九俵

大勢一轉の傾向
棉界に朗報來
商談甚だ旺盛に進行

政府の強硬新策の結材料を買つたものと見られてゐる

世紀の英雄
（二十七）

（講談）夏目漱石 伸二 番

レビュ皇軍行進（八）

「この鏡子さんの衣裳ですか？これは先生です、何しろ先月ひどい失敗をしましたからとても輕部撮ひのを、二つもやらしてはくれませんよ」

宮城はさう言つて父母つたやうに笑をごし〳〵と擦いた

「おや、どの撮の鏡のをやらしてくれと貴方がたのむのですか？」「さうです。今度の智律子さんのは僕が頼んだのです」「是非々々やらして下さいつて頼んだのでせう」

「さう言ふわけではないのですが」

「ねえ、宮城さん、恐れ入りますけれど今度一度だけ私のを作つて下さらない」

「はあ、でも先つきも言つた通り、僕の思ふ通りには先生が」「だから志願してもようだいよ」

この鏡子で行くと、指きりか何かやらされてしまひさうなので岩田連夫は

「さあ、鏡子嬢の衣裳製作のさう言はれると俄は眞剣な顏をして考へこんでゐたがやがて嘴みつくやうな口調で、

「智律子さんを僕が好いてゐるからつて、何も彼女が妨害する必要はないたらう」

「彼女は妨害、別に妨害とは思つてないよ。必要、彼女はもと〳〵君か好きな所へ、智律君を君が好いてゐると知ると一層拍車をかけられるんだ それに彼女は最近牧との生活にひどく入つてゐるさうだからそれも一因をなしたのだらうね。第一彼女は性來人淸いのだけど性來人淸いのが一番の原因さ」と言つて京平を見ると、彼はむつゝりと黙つてゐるので、「好かれたつてかまわないぢやないか。さう氣にするなよ」

肩をたゝいて連夫は部屋に引きあげて行つた。京平は連夫が行つてしまふとわざと袖から見ずに莫々と舞台の橫手へ出て、一本の柳になり、圖になり、或ひは編になつたりする鏡子達を見てゐた。たゞ時々踊つてゐる鏡子がちらりと自分を見やうな氣がして、さうした視線を感じる度に、さうした視線を感じる度に、さけたり、又無理に平然としてみやうとする努力をした。

まあ、そこへ掛けなさい突然さう云つて專務の前田の聲が後でして

「コステユームがいたむといけないから立つてゐますわ」

その聲は大和智律子であつた。智律子は補古が上つてこの舞台の橫へ來て休んでゐるらしかつた。智律子の聲を聞くや背後できくと京平はとびつけられたように、後を振りむく事は勿論橫さへも見られないやうなそつちこぼつた氣持ちになつた

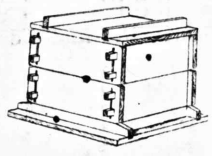
「どうだ。今度の興行は當ると思ふがね」

「あたしには解りませんわ」

「君は、京平が舞台に見入つてゐると思つてゐるせいか、或ひは京平の存在など全く無視してかよく通る聲で叫けられた

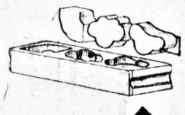
日本料理道具類

◆セイロ
二キロ入二重 五十五銭
同 三重 六十五銭
三キロ入二重 六十銭
同 三重 八十銭
セードロ材、スダレ付



◆重箱（一寸重）
松竹梅蒔繪入 六九銭
特品並品 四五銭

◆すし卷
スダレ
一枚
二、五〇〇



◆すし型
大型六銭
小型九銭

◆シャモジ
丸箸 一本 一銭五〇〇
◆箸類
五十人分 七、〇〇〇
白割バシ 五十人分 六、〇〇〇
赤割バシ 五十人分 七、〇〇〇

殺蟻界一大發見
フオルミシーダ・ビレナ

從來のフオルミシーダと本劑は全然違つてゐる點は蟻が食料と誤つて本劑を巢の中に運ぶ普通のフオルミシーダで全滅不可能の蟻巢は本劑ト容易ニ遂げられます

今迄は各地で試驗的に使用されましたが愈々効果を認められて大々的に普及されて來たので製造工場も大量生產と共に價格を低減しました

本劑 二十四個入 一ビン 五銭
同 十二個入 同 三銭

注意＝本劑使用法は御通知次第送附

時報商事部
時報支社
地方取次所
(Lins - R. Com. Sampaio, 144 Marilia - R. Paes Leme, 306 Pr. Prudente - R. Rio Branco, 10)

海興銀行
CASA BANCARIA IMIGRATORIA LIMITADA
São Paulo - Registro - Pedro de Toledo
Lins — Londrina